

長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名 : Cannibal

事業名 : SHINSHU SUMMER THEATER MUSEUM

事業内容 :

開催日 : 令和7年7月20日～21日実施

令和7年5月～8月(若手俳優・表現者のためのワークショップ)実施

会場 : 長野市ギャラリー花蔵

長野市中央隣保館

内容 : 若手俳優・表現者のためのワークショップ

5月25日 9名 6月22日 8名 7月27日 7名 8月24日 8名

基礎的なストレッチ、発声練習、コンタクトワーク、滑舌をよくする稽古など

SHINSHU SUMMER THEATER MUSEUM

7月20日、21日実施

参加団体 Cannibal (長野市) あけのあさ(佐久市) 劇団沸騰100 g (諏訪市)

レグエ☆パンチ(長野市)

事業の成果 : 本事業では、若手俳優および表現者を対象としたワークショップを開催し、延べ30名を超える参加を得ることができました。そのうち2名は、SHINSHU SUMMER THEATER MUSEUMにおいて当団体「Cannibal」の演目に出演し、学びを実践の場へつなげる成果を上げました。

ワークショップは、身体を通じた表現力の向上を目的として実施し、参加者が自らの表現を深める機会となりました。加えて、夏季イベントの開催に際しては、北信地区の演劇部を有する高校に対し無料招待の案内を送付し、その結果、高校生以下の来場者が全体の約7割を占めました。

また、当団体副主宰の富井が北信地区高校演劇大会への講評者として継続的に関わってきたことが、若手演劇人の参加促進および地域との連携強化に寄与したものと考えられます。

本事業を通じて、県内各地域における良質な短編演劇作品を広く鑑賞いただく機会を提供することができました。今後も本取り組みを継続し、芸術文化活動に関わることの楽しさや達成感、そして舞台芸術の魅力を次世代へ伝えてまいります。

今後の取組 : 本事業では、今後も引き続き、公演やワークショップなどの活動を継続的に実施し、若い世代を積極的に招待・参加促進することで、市民の地域の文化芸術を担う次世代の育成に寄与してまいります。

あわせて、舞台制作、音響、照明などの技術分野に触れる機会も設け、演劇表現のみならず舞台芸術の総合的な理解を深めるプログラムを企画いたします。これにより、若手表現者が多角的な視点から創作活動に関わる力を育み、将来的な地域文化の担い手として成長することを期待しています。

さらに、芸術文化に関わることの楽しさや達成感、舞台に携わる魅力を広く共有することで、一般社会における芸術文化への理解と関心を高め、地域に根ざした文化振興の一助となるよう努めてまいります。

実施状況

- ・演技ワークショップ案内



- ・演技ワークショップ実施状況(5月、6月、7月、8月)



・SHINSHU SUMMER THEATER MUSEUM実施状況

・メインビジュアル



・あけのあさ



・沸騰100g



・Cannibal



・レゲエ☆パンチ



・集合写真



・Cannibal 映像 (他団体の映像は団体に配布済)

